

## 1 地震加速度記録の情報項目

ダム地震記録整理結果報告表（様式－1）の項目説明を下記に示す。

(1)ダム番号

(2)ダム名

(3)ダム名（読み）

(4)ダム名（アルファベット）

(5)ダム緯度（°）（世界座標）

度単位で記載し、小数点第5位まで表示。

(6)ダム経度（°）（世界座標）

度単位で記載し、小数点第5位まで表示。

(7)型式

以下の略字で記載。

A：アーチダム、E：アースダム、G：重力式コンクリートダム、GA：重力式アーチダム、GF：重力式コンクリートダム・フィルダム複合ダム、HG：中空重力式コンクリートダム、MA：マルチプルアーチダム、R：ロックフィルダム

(8)ダム高(m)

最低基礎面から非越流部までの高さ。

(9)検出器設置場所

当該地震計（検出器部）の設置されている場所。

記入順序は、ダム堤体基盤→ダム堤体（低標高部に設置しているものから）→両岸アバット→サイト付近地盤→独立塔型取水塔や管理事務所等 の順。

(10)設置位置記号（JCOLD 統一記号）

地震計の設置位置について、JCOLD 統一記号で記載。記号は次のとおり。

設置箇所番号 (JCOLD統一記号)	検出器設置箇所
T 1	天端
M 1	堤体内
S d 1	堤体法面下流
S u 1	堤体法面上流
F 1	堤体基礎
G 1	地山
K 1	その他

#### (11) 設置位置記号(各ダム地震計記号)

各ダムで付けている地震計の設置位置記号を記載。従前の付け方は以下のようなルール（対応する記号1文字+数字1ケタ）で付けていたダムが多いが、特に設置位置記号を付けていない場合は空欄。

##### ①ダム堤体基礎（表示記号：F）

基礎岩盤、基礎岩盤内埋設、堤体基礎部、ダム基礎部。

##### ②ダム堤体の底部（表示記号：L）

ダム高の 1/3 より底部に設置されているもの。底設監査廊、底部監査廊、下段監査廊、堤体基礎監査廊、監査廊最深部、監査廊基礎、底設漏水量計測室、下段プラムライン室、フィル堤体接合部。

##### ③ダム堤体の中間標高部（表示記号：M）

ダム高の 1/3 以上 2/3 未満の天端標高以下に設置されているもの。中斷監査廊、堤体監査廊、ダム堤体中央、コア内部、コア中心、コア中央、コア内、ロック内、上下流法面、中段プラムライン室、監査廊（右岸）中位標高、背面中央、ダム中央中段、ダム中段通路、ダム堤体アバット沿いの通路中間部。

##### ④ダム天端（表示記号：T）

ダム堤体上部の天端付近に設置されているもの。天端、堤体上部、堤頂、ダム天端取水塔内、天端マンホール、天端道路、クレストゲート室。

##### ⑤地山（表示記号：R）

左右岸の地山内の横坑や監査廊に設置されているものやアバットの地表や展望台付近の地表面に設置されているもの。リムグラウトトンネル、地山、横坑、地山監査廊、ダム下流地山、管理所構内、管理所駐車場。

##### ⑥建物内（表示記号：B）

ダム付近の建物の屋内に設置されているもの。管理事務所庁舎内、発電所内、エレベーター建屋内、エレベーター室、電気室。

※ただし、雨水を防ぐ目的で建物屋内の地表面に設置している場合を除いた。またダム堤体と隣接しているエレベーター建屋内やエレベーター室が天端付近にある場合は除いた。

⑦地表面（表示記号：G）

ダムサイト直下流付近の地表面や解放基盤に設置されているもの。下流地盤、堤体下流解放基盤、バルブ室内、法尻漏水量観測室。

⑧付属構造物等（表示記号：I）

ダム堤体と独立して設けられている付属構造物（選択取水塔など）に設置されているもの。取水塔底部・中間部・上部、取水塔パイプ内、表層取水斜扉、選択取水塔。

⑨その他（表示記号：Q）

右岸段丘部、原石山下段水抜きトンネル内、ステップ、ダム上下流の遠く離れた地表面などに設置しているもの。

(12)方向(13)正(+)方向記号(14)軸の方向角度（正(+)方向）

当該地震計測定成分の+方向とその方位を真北方向（N方位）からの角度で記載。

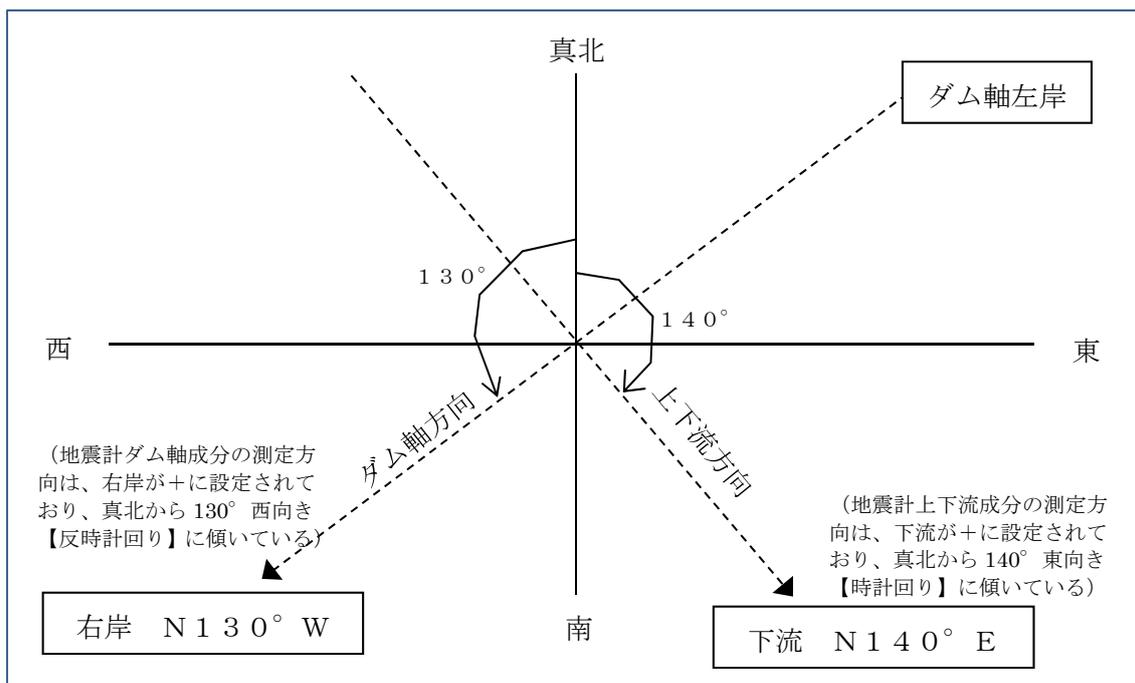
1台の地震計には、通常3つの方向成分（上下流方向、ダム軸方向、直方向）があるので、方向成分ごとに+の方向（たとえば下流側とかダム右岸側）、ならびにその方向の真北からの角度を記載。

ダムでは、水平2成分については下流方向・ダム軸右岸方向、上下成分については鉛直上方を正とする場合が多い。

※測定成分の+方向について

地震計の検出器の方向成分ごと（ダム軸方向、上下流方向ごと）に+が記載されているので、方向成分ごとの+の方向を確認。メーカーにより+の方向の設定が異なるので注意が必要。

以下の図に模式図を示す。



(15)設置標高 EL.(m)

当該地震計（検出器部）の設置標高。

(16)最大加速度値(cm/s<sup>2</sup>)

絶対値としての最大値。

(17)デジタル波形ファイル番号

地震動データのファイル名。エクセルファイルを別途添付。

(18)観測時間(sec)

(19)サンプリング間隔(sec)

デジタル形式の地震計については、地震記録のサンプリング周波数（サプリングタイム）の設定値を検出器設置場所毎に記載。

(20)データ数

(21)地震時貯水位 EL.(m)

地震発生日の当該ダムにおける日平均貯水位。

(22)地震観測年月日

(23)観測開始 (時分秒)

(24)マグニチュード(M) (25)深さ(km)

気象庁 HP に示す値。

(26)震央距離(km)

気象庁 HP に示す震源位置座標と(5)(6)との平面距離。

(27)地震名

(28)機関

## 2 地震加速度記録

2000年10月3日から2011年4月11日までの期間に、ダムで観測された地震加速度記録について、ダム地震記録整理結果報告表（様式-1）及び時刻歴波形を示す。ここに示す記録は、直轄及び補助ダムのうち、ダム基礎部において25gal以上を計測したものである。なお地震動データのエクセルファイルは、本資料付属のDVDに収録した。